

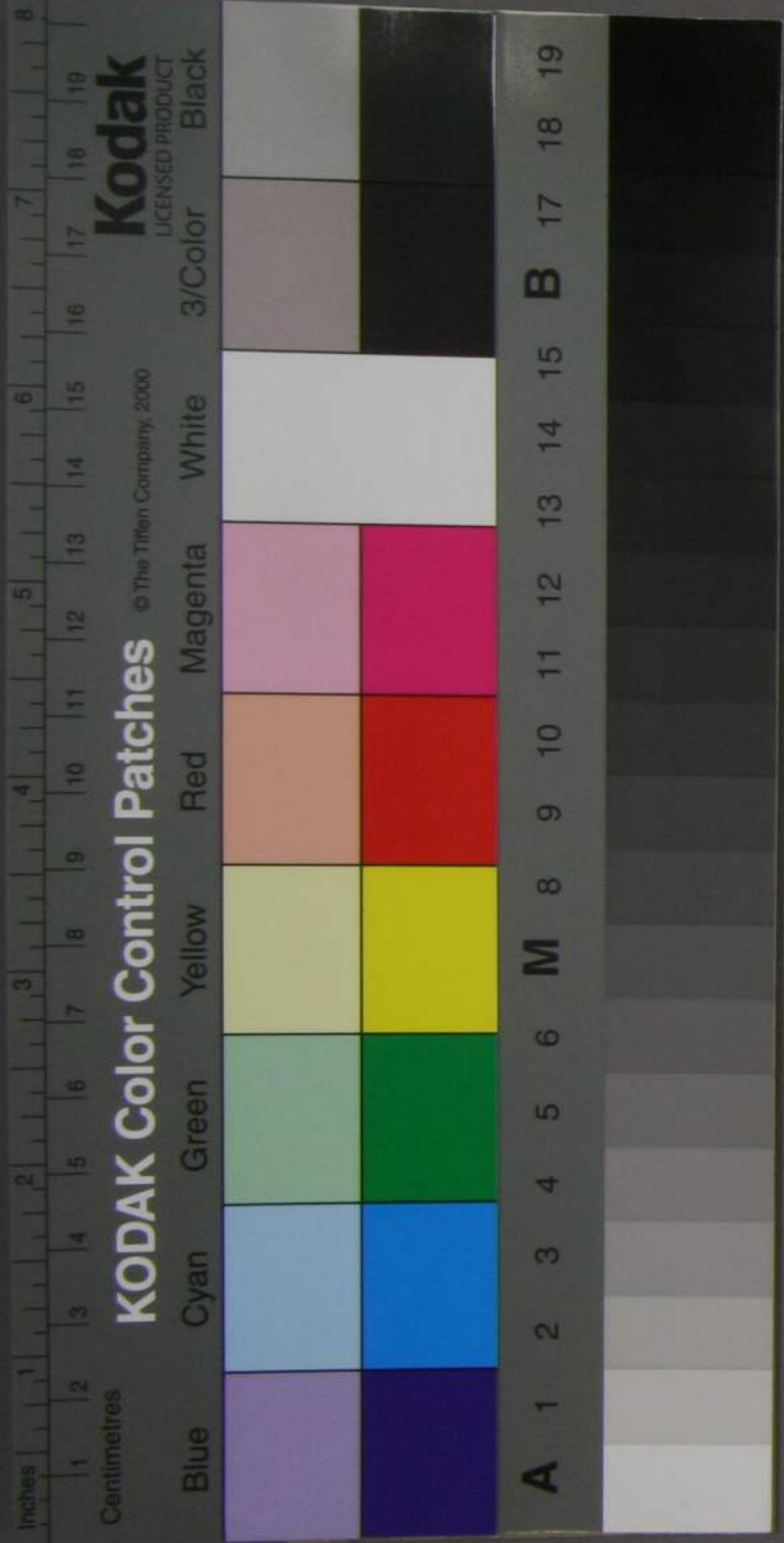
114
A 1949



市街宅地租増徴ニ對スル意見

財源トシテ酒税ヲ始メトシ市街宅地租所得税
賣藥税砂糖税葉煙草專賣收入等ニ依ラ
ントスト云フ是目下朝野人士ノ共ニ之ヲ口ニス
ル所タリ夫レ一國財政上歳入ノ不足スルニ當ツテ
ハ増税ニ依リテ之ヲ補填スルヲ最モ安全ナリト
スルハ何人モ是認スル所タリ國民タルモノ等シク
是カ負担ヲナスヘキハ便ケ当然ノ事ニ屬ス然
レニ増税ノ方法ニシテ其宜シキヲ得ス課税ノ公
平ヲ失スルモノアルニ至ツテハ何人ト雖モ之ヲ默
過シ得ヘカラサルヘシ今回ノ増税策中市街
宅地租増徴ノ如キハ尤モ不公平ナル課税ニシテ

京師商業會議所



又ノ農民ニ比シ市民ノ負擔ラシク偏重ナラシ
ムルモノニアラスヤ何トナレハ顧フニ政府ハ一般ニ
地租ヲ増徴セシテ独リ市街宅地租ノミヲ増徴
スルノ理由ハ輒近市街宅地ノ賣買地價非常
ニ騰貴セシニ歸スルカ如シト雖モ此間一般地
價モ亦著シク騰貴セシテ以テ單ニ此事實ニ
由ルモノトセハ一般ニ地租ヲ増徴スヘキモノニシテ
市街宅地租ノミヲ増徴スルノ理由存セサルナリ
加之市街宅地租ノ沿革ニ徴スルニ維新前ハ概
シテ無税ナリシモノヲ明治五年始メテ賣買地
價ノ百分ノ一ヲ賦課シ翌年地租改正法ノ發
布ト共ニ一般耕地ト同ク地價百分ノ三トナレ
更ニ現今ノ税率百分ノ二半トナリタルモノニシ

テ當時ノ賦課増徴タルヤ耕地其他ト平均ヲ得
セシメ以テ農高ノ負擔ヲ均一ナラシメントノ趣旨
ニ外ナラサリナリ然ルニ今ヤ独リ市街宅地租ノ
ミヲ増徴セントスルハ從來ノ沿革ニ背及スル
ノミナラス却テ農高ノ負擔ヲシテ反對ニ懸
隔セシメントスルモノニシテ理論上亦課税ノ公
平ヲ得タルモノニアラサルヤ論ヲ竣タス況ニ市
街ノ住民ハ更ニ營業税法ノ實施ニ依リテ重
税ヲ負擔スルニ至リシニ拍ハラス又更ニ亦市
街宅地租ヲ増徴セラレントス之レ實ニ農民ニ
偏輕ニシテ高工ニ偏重スル惡税法ト云ハサル
ヲ得サルナリ曩ニ當會議所カ營業税法廢
止ニ度スル意見ヲ建議スルヤ之ニ代フルニ市街

京都府議會

宅地價ヲ修正シテ増税ヲ畫スヘキノ事ヲ以
ラセリ其趣旨トスル所市街宅地租ノ收入ヲ以テ
不公平且ツ弊害酷タレキ營業税法ニ代ヘラ
レシトシテ期セシニ在リ而シテ京都高業會議所
カ市街宅地價ヲ修正シテ其増税ヲ主張セシ
所以ノモノハ一般地租ノ増加ノ止ム可ラサルヲ豫定
シ其前提トシテ宅地租ヲ増加レ進シテ一般ノ
地租増加ヲ促カセシノ意ニ外ナラス然ルニ今マ
營業税法ハ依然トシテ存續シ高工業業者ハ
止ムナク其繁難ト負擔トシ辛抱スルノ際茲
ニ亦市街宅地租ノミヲ増徴セラレントスルノ議アリ
此ノ如クンハ市街住民ノ困難ハ實ニ言フニ堪
ヘス高工業ノ前途頗ル憂慮スヘキモノアラ

ン要スルニ市街宅地租ヲ増徴セントセハ須ラ
ク一般ニ地租ヲ増徴スヘク否ラスンハ孰シテ
市街宅地租ノミヲ増徴スルノ理由ヲ存セサ
ルナリ

右本會議所ノ決議ニヨリ謹テ奉建議言也

明治三十一年十月四日

京都高業會議所
會頭 濱岡光哲



内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

京都高業會議所

Handwritten mark or signature at the top of the page.

Main body of the page containing vertical columns of handwritten text within a red border.

Vertical red text on the right edge of the page.

